

令和4年第5回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

令和4年6月3日（金）午後2時01分から午後3時01分

○場 所

筑紫野市役所 301会議室

○出席委員（5名）

教育長	上野 二三夫	教育委員	潮見 眞千子
教育委員	田代 邦夫	教育委員	牛川 由美
教育委員	久原 寛		

○欠席委員（0名）

○出席説明員（9名）

教育部長	長澤 龍彦	教育政策課長	吉開 和子
学校教育課長	高木 美智子	学校給食課長	倉掛 伸夫
生涯学習課長	檜木 理恵	文化財課長	小鹿野 亮
文化・スポーツ振興課長	益永 晃	指導主事	村岡 陽子
社会教育主事	田中 翔		

○出席事務局職員（1名）

教育政策課
庶務担当係長 山内 徳章

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について

令和4年第4回筑紫野市教育委員会会議録（令和4年4月27日開催）

2. 教育長の報告について（別紙）

3. 議案第9号 令和3年度筑紫野市教育委員会点検・評価報告書について

4. 議案第10号 筑紫野市立図書館協議会委員の委嘱について

5. 議案第11号 筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱につ

いて

6. 議案第12号 令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）教育費について

○部課長の報告について

○その他

○次回の日程 【定例会】 令和4年6月30日（木）午後2時00分 筑紫野市役所 301会議室

会議録

○教育長：ただいまから令和4年第5回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。それでは、議事日程の順序に従い、会議を進めてまいります。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いをいたします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

○教育長：令和4年4月27日開催の令和4年第4回筑紫野市教育委員会会議録について、承認することにご異議ありませんか。

○久原教育委員：訂正があります。8ページの下から9行目、「市民の会」と書いているものは「趣味の会」の間違いです。それと、あと同じページの下から5行目に「会長さんも」と。これは「館長さんも」です。その部分がちょっと違っていましたので。

○教育長：ありがとうございます。事務局、いいですか。修正をお願いします。

○教育政策課庶務担当係長：はい。

○教育長：ありがとうございました。ほかにごありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については承認されました。

日程第2、教育長の報告の件

○教育長

- ・5月に実施された体育会、運動会について

各学校ともコロナ感染予防対策を十分取って開催。

5月15日（中学校5校） 5月21日（小学校2校（天拝、山家））

5月28日（小学校5校（阿志岐、二日市北、山口、筑紫東、原田））

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更等について

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課より、令和4年5月23日付事務連絡において、現在の学校衛生管理マニュアルに示す内容からは変更ないとのこと。

- ・令和4年度第2回管内教育長会議

所長挨拶

- ・日々の新型コロナウイルス感染拡大予防のための取組についてのお礼。
- ・管内では現在もなお講師を含めた教員不足が深刻な状況。管内には教員の未配置校も多く、関係の学校には大変迷惑をかけているが、早急に解決するよう尽力していく。
- ・管内には新規採用教職員を多数配置、今回391名配置。これからの人材育成が求められる。

そのため、それぞれの個に応じた育成が必要。

・福岡県教育委員会の吉田教育長より、年度初めの挨拶の中で3つの課題。

1. 定数未配置問題 2. 県立学校の定員割れ 3. 教育事務所の行政改革

・人事管理班関係資料

資料1. 市町村立学校管理職試験について

資料2. 条件付き教員等の業績評価の実施時期と評価書の提出について

○教育長：ただいまの報告について、質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。

日程第3、議案第9号、令和3年度筑紫野市教育委員会点検・評価報告書について

○教育政策課長：（提案理由の説明）

○教育長：48ページ、最後のほうに井口先生からの意見をとじ込んでいますね。これも含めた形で今日は報告がっております。

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○潮見教育委員：3ページのその他の活動のところ、総合教育会議のことは入れなくていいんですか。

○教育長：その他の活動に。

○潮見教育委員：それと、私たちの研修を。一回か二回ですかね。私たち教育委員の研修をしましたよね。

○教育政策課長：市の研修ですね。はい。

○潮見教育委員：そのことは入れなくていいのかな。入れなくていいならいいんですけど。

○教育長：入れよう。

○教育政策課長：入れさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

○田代教育委員：入れたほうがいいでしょうね。

○潮見教育委員：何かしてないような気がして。これだけかなと思ってしまって。

○教育長：いや、そうじゃないです。いいですか、部長。

○教育部長：はい。ありがとうございます。

○教育長：ほかにございませんか。牛川委員ないですか。

○牛川教育委員：今で言えば、ふるさと館に行ったこととか。

○教育長：視察研修ね。

○教育政策課長：はい、視察研修です。かしこまりました。

- 教育長：いや、あれも意味がありましたよね。
- 牛川教育委員：せっかく行かせていただいたので。
- 教育長：しっかり説明等もいただきましたからね。ありがとうございます。
では、そういったこともいいですか、きちっと記載していただいて。
- 教育政策課長：はい、ありがとうございます。
- 教育長：ほかにございませんか。
- （特になし）
- 教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第4、議案第10号、筑紫野市立図書館協議会委員の委嘱について

- 文化・スポーツ振興課長：（提案理由の説明）
- 教育長：本件について質疑ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第5、議案第11号、筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について

- 生涯学習課長：（提案理由の説明）
- 教育長：本件について質疑ありませんか。
- 潮見教育委員：先ほど、図書館のほうでも名前がありました永渕さんという方はどういった方か、お伺いしてもよろしいですか。
- 生涯学習課長：永渕芳美さんは、前年度までは筑紫野市立学校PTA協議会のほうからの推薦を受けて委員をされておりました。PTA協議会の女子副会長ということで推薦を受けておりましたが、こちらが1年交代ということになっておりますので、永渕さん自身も役を替わられたということで、PTA協議会からの推薦はなくなりましたが、この永渕さん自身が山口小学校のちくしっ子あそび広場の運営スタッフということで、その経験を、今回、社会教育委員の会として生かしてほしいということで、識見者ということで今回の委員に選任させていただいているところです。

- 潮見教育委員：分かりました。ありがとうございました。
- 教育長：ほかに質疑ありませんか。
- 田代教育委員：一ついいですか。
- 教育長：どうぞ。
- 田代教育委員：一番下に書いてありますこの注意書きは、社会教育委員の会と生涯学習センター協議会の顔ぶれは同じですという意味ですか。
- 生涯学習課長：はい。兼任をするということです。
- 田代教育委員：全く同じ。
- 生涯学習課長：はい。
- 潮見教育委員：会議も一つですよ。会議も一緒にされる。
- 生涯学習課長：はい。一緒にして、社会教育委員の会の中で生涯学習センターの協議会委員としての仕事も同日にやっております。
- 教育長：ほかに質疑ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第6、議案第12号、令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）教育費について

- 教育政策課長：（提案理由の説明）
- 教育長：本件について質疑ありませんか。
- 田代教育委員：図書カードは随分大きな金額ですけれども、1人当たりにしたら幾らぐらいになるんですか。
- 学校教育課長：1人当たりが1万円ずつということです。小学校から18歳以下の高校生世代といますか、年齢でそこまでの計1万3,000人ぐらいの対象者になるかと思います。また、郵送費とかも込みで、この金額が計上されております。
- 田代教育委員：小学生も1万円、高校生も1万円。
- 学校教育課長：そうです。
- 久原教育委員：この使い道ですよ。この内容で言われているように、読書離れとか家庭での学習のとかいう感じであればいいんでしょうけど、図書カードで漫画を買うとか、そういうことも考えられると思うので、その有効性というか、その辺がこの内容に合致した形でいかないと、税金の無駄遣いとかいろんなことが出てくる可能性はあると思います。だから、教育的な配慮の

中でそういうことをされている部分というのをぜひともしっかり考えておかないといけないのかなと思います。

○教育長：なるほど。大変貴重な御意見です。

○潮見教育委員：同感です。

○教育長：これはもう校長会等でもしっかり話していきたいと思います。

○田代教育委員：漫画を買うというのはまだいいほうで、それこそ金券ショップとかそういったところに行きかねないぐらいの金額ですね。読書離れは、お金がなくて本がなかなか買えないという子もいるでしょうけど、やっぱり本を読もうという空気をつくっていかないといけないと思うんですね。学校であったり、地域であったり、家庭であったり。そちらのほうが先かなという気がしますけど。

○教育長：そうですね。ありがとうございます。

○潮見教育委員：そう思います。

○教育長：潮見委員もいいですか。

○潮見教育委員：びっくりしました。1万円って思って。

○教育長：本当です。大金ですね。

○教育長：部長、ありますか、その辺り。

○教育部長：今、各委員のほうから貴重な意見をいただきました。この図書カードの配付につきましては、令和2年も図書カード2,000円分を小学生と中学生に配付して、学習支援の一助になればといったところで支援をさせていただいたところであります。そのときは国の100%補助を受けて対応しましたが、今年度のこの1億3,638万2,000円につきましても国の100%補助を受けて実施していきます。そして、1万円の根拠というのは、先ほど委員の皆さんもびっくりされていたけれども、そのときにいろいろ学校のほうにお尋ねして、こういうものをそろえたら大体これぐらいの金額になるといったところの算出から、1万円を支給しようといった取組でございます。

令和2年に実施したときにも、議員さん等からも有効に活用していかないといけないといった御意見等もいただいて、それを踏まえながら今回またいろんな課題がありましたので、そういったところも踏まえて、この事業が効果的になるように取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくをお願いします。

○教育長：ありがとうございました。

○潮見教育委員：これはコロナ関係の補助金なんですか。

○教育部長：国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象になるということで取り組もうという内容でございます。

委員からいただいた意見も当然、議会のほうでも同じように聞かれるのではないかと、尋ねられ

るのではないかなといったところで考えておりますので、そういったところもしっかり説明させていただいて進めていきたいと思っております。

○教育長：家庭にも子どもたちにもきちんとしたこの趣旨に合致するような使い方、そういったことをきちっと押さえる必要がありますね。

○教育部長：そうですね。その辺、しっかり学校と連携を取らないといけないと思います。

○教育長：そうですね。

○教育長：ほかに質疑ございませんか。

○潮見教育委員：学校給食物価高騰対策事業のことですけど、補正額が出るということで、もう給食費が上がるということは考えなくていいですか。

○学校給食課長：こちらは緊急対策といたしまして、試算によりますと、野菜類とか加工食品とかいったものが6%を超えるような形で、現状上がってきておるといことがあります。それに加えて、また今後、ロシアの状況とか、輸入小麦も、政府物資が上がるのではないかとという話も出ておりますので、今後の見通しも含めたところで、まずは本年度の給食の質を下げないというようなことから、こういった事業をさせていただくようになりました。

当然、給食費の問題については、今のところ上げる予定ではございませんけれども、まずは今年度についてはこの事業としてやっていきまして、中長期的にはまた先の状況を見ながら、そのときに適切な対応が取れるように情報を収集していきたいと思っております。

○潮見教育委員：分かりました。

○教育長：ほかに質疑ありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。以上で本日の議事はこれにて終了いたします。続きまして、各課等からの報告を受けたいと思っております。

○教育部長：

- ・令和4年度第3回市議会定例会について

令和4年度第3回市議会定例会が来週6月8日から6月24日までの会期予定で実施されます。17日間の予定でございます。一般質問が6月21日、22日の2日間で予定されておまして、その前に常任委員会が開催される予定になっております。

先ほど一般会計の補正予算の教育部関連、総額2億円を超える補正予算を提案させていただくこととなりますので、委員さんのほうから今いただいた貴重な意見を踏まえながら、しっか

り議員さんのほうにも説明ができて、そして御理解いただけるように、可決いただけるように取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

・市制施行50周年記念事業の取組について

令和4年度、今年度につきましては、市制施行50周年の記念すべき節目の年ということで、今年1年間をかけて、いろんな事業に取り組むようになります。

お配りしております資料を御覧いただきたいと思います。50周年特別記念事業の検討・実施スケジュール（案）ということで、実際にもう取組が行われている事業でございますが、ここに14事業を挙げております。この14事業の中で、教育部の関連につきましては4事業でございます。

上から二つ目の「市民劇」と書いてある事業ですね。こちらが市民参加ミュージカルということで、40周年記念のときもこのような同様の取組を行っていたんですが、またちょっと趣向を凝らして専門的なプロの劇団の方にもお願いして行う事業であります。題目は「パーパス！～森の王様とつくしの子供たち～」ということです。森の王様のことをパーパスと言います。9月17日土曜日、18日の日曜日の二日間実施予定で進めております。主催は、つくしドリームミュージカル運営委員会で、市の文化会館、市の文化振興財団が共催ということで、あと市の教育委員会が後援するというような取組でございます。

次に、下から三つ目の事業で「未来の自分へのメッセージ」ということです。この事業につきましては、市内小学校11校の10歳の4年生の児童に、10年後の20歳の自分に向けた未来の自分へのメッセージを学校にて作成していただいて、そして10年後、市制施行60周年の際にそのメッセージを郵送で送り届けて、10年前の自分を振り返り、思い出していただくような取組の事業でございます。

次に、下から二つ目、50周年記念給食ということで、こちらについては児童・生徒の皆さんに喜んでもらえるようなデザート類の給食を提供しようという取組でございます。一つの案として、例年、市長と一緒に教育委員さんも学校給食訪問をしていただいておりますので、ここ2年でできてないところもありますが、今年度は今までどおりに実施できればということで予定しております。その際にそういった提供ができればといったところで現在検討している状況でございます。

そして、一番下ですね。博物館企画展「市のうつりかわり展」ということです。こちらにつきましては、これまでの50年間の市の移り変わり、振り返り、そういったところを、写真等を展示しまして企画展を行うという事業を計画しております。ここには上げておりませんが、追加の事業としまして、小・中学校記念航空写真集ということで、児童生徒が人文字などを作って、それを上から航空写真で記念撮影して、そして撮影したものを冊子として作成して、無

償で子どもたちに配布するというようなところも検討しているところでございます。

一応、特別記念事業として、教育部関連は五つの事業を今後計画しております。そのほかにも、例年、体育協会であったり、いろんな実行委員会を立ち上げて取り組む事業、例年やっている事業につきましては、冠事業ということで冠をつけて実施をしていただくと。また、各コミュニティのほうでは、50周年の記念イベントということでいろいろと趣向を凝らして企画していただいておりますので、そういったところの取組を市と連携しながらやっていくということになります。市民の方、あと市、行政とみんなできれい分ち合いながらやっていこうという取組になりますので、どうぞよろしく申し上げます。委員さんに報告ということでございます。以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。今、部長のほうから、それぞれ2項目にわたって説明がございました。よろしいでしょうか。

○久原教育委員：先ほど学校の航空写真の話が出たんですけど、実はコミュニティの運営委員会の50周年の取組の中で同じようなことが出たんですが、その調整は。

○教育部長：そうですね。筑紫南のコミュニティのほうで、そういう同じような企画をされているということは聞きましたので、コミュニティ推進課と協議いたしまして、同じものを2回やるようなことがないように、その辺ちょっと調整をさせていただきたいと考えております。

○教育長：よろしいですか。

○久原教育委員：はい。

○学校給食課長：

- ・6月分の献立表について

6月23日、郷土料理が沖縄県と。これは毎年、沖縄県にさせていただいております。沖縄慰霊の日に合わせて沖縄料理を食べるのが毎年の恒例になっていきますので、今年もまた慰霊の日に合わせて沖縄の料理を提供しようという試みでございます。

- ・令和3年度筑紫野市学校給食残菜率について

毎年報告をさせていただいております残菜率の集計が終わりましたので、また今年も昨年度分を報告させていただきたいと思っております。

表紙を開いていただきますと、1ページ、2ページで2段になった表を記載させていただいております。例年どおり、上が令和2年度、2ページの下が令和3年度でございます。

種別ごとに一番右側のほうに、主食の残菜率。おかず1は、お椀で提供するもの。おかず2は、フライであったり、焼き物であったりというもの。おかず3というのが、野菜のあえ物。それから牛乳となります。水色のところで、令和2年度、残菜率が2.61%。全て合わせまして

2.61%でございましたけれども、令和3年度につきましては全てのトータルで3.23%と、やはり残菜率が上がってきております。

これより以前の状況を改めて私も確認をしたところ、平成30年度では1.62%。すいません、資料の中には記載しておりませんが、1.62%でした。平成31年度については1.76%ということで、それから比べると随分増えてきたなという印象です。増え方を見て言うと、どうしても小学校、中学校で今、コロナ対策の黙食というのがですね。子どもたちにとっては給食の様相が一変しているようなので、そういったところも影響しているのかなというふうに考えています。こういった残菜率についても、昨日の校長会でも各校長先生に見ていただいて、確かに今3.23%というのは物すごく悪い数値ではないんですけども、以前がかなりいい数値でしたので、もうこれ以上下げないような取組をしていただきたいという願いをするとともに、やはり取組をする際にも、昨年度、教育委員さんから数値だけを目標にしてすることじゃないですよという御意見をいただいたことを紹介しながら、まずは食の大切さ、食材に対する感謝の気持ちとか生産者に対する感謝の気持ち、そういったものが進んでいけば必然的に残菜率も下がってくるのではないのでしょうかというお話も含めて、ましてや残菜率を下げるために給食が嫌いになったというのも本末転倒の話なので、そういうことも判断しながら御指導してくださいとお願いをしております。

3ページ以降、学校ごと、種別ごとというのはまたお読み取りいただきたいと思いますが、やはりそこでも学校ごとで少し差があるということは、まだ向上の余地はあるのではないかなと考えております。報告は以上です。

○教育長：ありがとうございました。

○田代教育委員：直接これではないですが、今、夏に向かう時期になってきて、マスクの弊害みたいなことが盛んに言われ出してですね。一つはコロナがやや収束しかかっているという状況もあるかと思うんですけど。そうした話の中で、やっぱり一日中マスクしていることによる体の状態といいますか、そういったのが食欲であるとか、いろんなものに影響してきているんだろうと思うんですね。ですから、あまり尻をたたくような状況もよくないかとは思いますが。

○教育長：そうですね、確かに。

○田代教育委員：やがてマスクを外すようになってくれば、また元の状況に戻っていくのかなとも思っております。

○教育長：ありがとうございます。よろしいでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：

コロナの関係が右肩下がりというか、ちょっと下降ぎみな傾向にありますので、やっとスポー

ツイベントを1個、今、途中でございますけど、お客様をお呼びしましてイベントを開催することができました。

福祉レクリエーション講習会というのが、大体5月の下旬からあっていまして、昨日2日目が終わりました。20名程度のイベントですけれども、皆さんが笑顔で触れ合って、触れ合うというか、今は工夫してタオルを持って触れ合うような感じで。レクリエーションの関係なんですけど、その辺りもレクリエーションの先生もしっかりと配慮されてやっています。もう笑い声たくさんイベントで、やっぱり改めてイベント楽しいなという思いがありましたので御紹介いたしました。

明日も生涯スポーツセミナー、オンラインもありますけれども、生涯学習センターで行いますし、7月に入りますと水泳大会等ありますので、それに向けて今頑張っているところです。

以上です。

○教育長：だんだんこれからいい傾向になっていくといいですね。

○文化財課長：

文化財課のほうは、今日、この委員会の終了後に博物館を御視察、御指導賜ることになっておりますので、詳しくはその場で申し上げたいと思いますが、企画展示室で、昨年度も御観覧いただいております「ものがたりからみる武蔵寺縁起」ということで、御指導を賜りましたいろいろな御意見を参考にしながら、アレンジを加えた展示会をやっております。

それから、エントランスホールでロビー展をやっておりますが、「筑紫野市50年のあゆみ」ということで、「広報ちくしの」の50年間の中で、ふだん市民の方々は図書館とか博物館にも閲覧用としてとじたものはございますけれども、テーマを持って閲覧をしていただくことができませんので、ロビー展ではテーマを設定して、その中からセレクトをして、ストーリー性をつくって展示をしております。

例えば交通ですとか、市の公共施設でありますとか、学校とか、コミュニティ施設の開館とか、そういったことで抜粋をしまして、館のエントランス全体を使って50年間を展示しているということでございますので、詳しく現地のほうで御観覧いただければと思います。

それともう一つ、博物館におきましては、市制施行50年ということで今年度は年4回の企画展と、それからロビー展を予定してございます。全ての企画においては、テーマはもちろん変えますけれども、市制50年ということの一つのキーワードとして企画を打っていくような形で考えてございます。また改めて御報告させていただければと存じます。

以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。今日は楽しみにしております。

○文化財課長：ありがとうございます。

○社会教育主事：

50周年事業の関連のお話がありましたので、地域の事業紹介ということで1点、山家通学合宿について御報告をさせていただきます。

山家通学合宿については、50周年はもちろん、こちらが10回目ということですので、6月19日から25日にかけて、山家1区の公民館に、21人の予定ですが山家小学校の小学生が泊まりまして、そこから学校に五日間通うと。その共同での生活をする中で、いろいろな忍耐力でしたり、我慢強さ、また楽しみも学んでいくというような事業を行っております。また本日夜7時から運営委員会ということで開催されまして、皆様、地域の方が一丸となって取り組んでいるような事業になっております。

以上でございます。

○教育長：21人、今度応募しているわけですね。

○社会教育主事：はい。

○教育長：いい取組ですので。

○潮見教育委員：そうですね。今年で10回なんですね。

○教育長：10回目ですね。もうこれだけ長くやっているところってないでしょう。

○潮見教育委員：地域が出来上がっているからですね。

○教育長：そうですね。そうやってきちっと頑張っていたくボランティアの方たちがそろっておりますので、非常にありがたいですね。よろしくお願いします。あとはお天気の問題ですからね。大雨とかになるとちょっと心配事になりますけど。無事終わることをお祈りしながらいきたいと思います。

○教育長：それでは、各課等からの報告を終わりたいと思います。続きまして、その他に移りたいと思います。教育委員の皆様、また、部課長からあればお願いします。

○（特になし）

○教育長：これもちまして、令和4年第5回筑紫野市教育委員会定例会を閉会といたします。